

親しく正しく和かに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫＝大本山本興寺御閑士大平日晋上人

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）

本覺山妙壽寺が発行する寺報です。

檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



No.51

令和5年1月1日発行



本覺山 妙壽寺 〈法華宗（本門流）〉

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1

電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427

ホームページ http://myojyuj.or.jp



ワレコラム No.8

動物廟春秋 当山徒弟 伊東妙潤

妙壽寺の動物廟の供養をさせて頂いております伊東妙潤と申します。
私が当山に伺うようになったきっかけは、現ご住職の奥様、久美夫人と学生時代からの乗馬仲間だったことでした。初めは愛犬を連れて遊びに伺っていました。そのうちにお寺の行事のお手伝いに伺うようになり、やがて週一度伺うようになった次第です。ですからお寺と私の縁を繋いでくれたのも馬と犬、すなわち動物だったわけです。

そして15年位前のある日、ご住職に今度お寺に動物廟ができるのですが、そちらの供養をしていただきませんかとお話をいただき、幼い頃からたくさん動物と接して、その命も見送ってきた私は、是非やらせて下さいと申しあげました。そして法華宗の教師養成特別講習会に参加して資格を取得させていただき、今日に至っております。

初めは本堂の下階の小さな部屋からはじまり、今は管理棟 階および庭の合同廟にたくさんの方々が、猫ちゃん、兎、珍しいところではアライグマなどが仲間に加わり、賑やかになってまいりました。ご住職が法要で塔婆を読む際、アライグマをさしてどう読むか悩まれたというエピソードもございました。

核家族化の現代、ペットは家族同様、私もそうでしたが動物の最期まで一生懸命生きようとする姿を見て命の尊さやその繋がりへの感謝など、動物たちはたくさんの方々に教えてくれると思います。

動物廟の庭は久美夫人が手入れをされている薔薇や四季の花々が咲き、今は蜜柑の実が色づいてまいりました。時折楽しそうに遊んでいるわんちゃんたちの姿も見受けられます。春秋のお彼岸、お施餓鬼、御会式には動物廟でも法要が行われております。皆様、是非妙壽寺動物廟に一度足をお運び下さいませ。



「華の宴」（一雙屏風） 中村美希画 猿江別院蔵

妙壽寺客殿保存会
第3回委員会開催の報告

9月29日、客殿大広間で開催された第3回保存委員会はコロナ禍で3年ぶり、昨年、残念なことに内田祥哉委員長（東京大学名誉教授・新本堂建設委員長）が天寿を全うされ*、その重任を引き継がれた坂本功新委員長（日本建築防災協会理事長）は木構造の専門家です。

保存と利活用のみならず、造園設計者の松本恵樹さんが境内整備デザインと寺町通りからの路地の街並みを提案、烏山商店連合会副理事長の田中省一氏（檀家世話人）が地域からみた寺町の話、後藤治委員（工学院大学理事長）からは伝統建築のメンテナンス管理にこそBIM**をというアドバイスもあり、そしてご住職は近代和風のプラットフォーム作りをと、多彩な話題であつという間の2時間でした。

三浦清史（客殿保存委員会 委員、こうだ建築設計事務所）

* 寺楽寿 47、48号参照。

** ビルディングインフォメーションモデリング。建築の形状、要素、数量、価格など多角的な属性のデータベースで、三次元モデルで表現されることが多く、その情報が簡単に取り出せるシステム。



法要のご案内 (別紙参照)

コロナウイルス感染の拡大防止のため、感染対策を十分に行い奉修いたします。

節分会追善式（豆まき）・正隆会

2月3日(金)

春季彼岸中日法要

3月21日(火・祭 春分の日)

初座：午前11時 第二座：午後2時 動物諸霊法要：正午

孟蘭盆会施餓鬼法要

7月16日(日)

新孟蘭盆会法要(新盆) 午前11時
孟蘭盆会法要 午後2時 動物諸霊法要：正午

予告

2月16日(木) 宗祖聖誕800年記念法要
於 京都大本山本能寺(宗門僧侶にて奉修)

3月10日(金) 東日本大震災法要
於 茂原大本山鷺山寺(宗門僧侶にて奉修)

5月6日(土) 猿江大祭法要 於 猿江別院

猿江別院御写経会 2月9日(木)・4月13日(木)

※毎回、13時～19時 参加費：500円

新規墓所
ご案内

3尺×4尺=6基
3尺×3尺=6基
2尺×2尺=8基

詳細は当山までお問い合わせください。

正隆会

[SHORYU-kai]

午後2時開催

月例講
ご案内

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会では、毎回1時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため離隔距離をとり、実施いたします。

- | | |
|-------|--------------------|
| 1月7日 | 初題目・勉強会「日蓮紀行」拝読 23 |
| 2月3日 | 節分会追善式（豆まき） |
| 3月11日 | 勉強会「日蓮紀行」拝読 24 |
| 4月8日 | 勉強会「日蓮紀行」拝読 25 |
| 5月6日 | 猿江稻荷春季大祭 |
| 6月10日 | 勉強会（内容未定） |
| 7月8日 | 写経会 |



当住上人の

宗務院 DIARY

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 8/19
～25 | 北海道教学講習会 担当部長：当住上人 |
| 9/7
～9 | 教学研究総会（オンライン会議） |
| 9/14 | 聖誕800年記念法要準備会 於 京都大本山本能寺 |
| 10/3
～5 | 東京教学講習会 |
| 10/7 | 全日本仏教徒大会 於 身延山 7・8 |
| 10/26 | 内局会議、聖誕800年記念法要準備会 |
| 11/9 | 全仏理事会(オンライン会議) |
| 12/8 | 内局会議 於 沼津西之坊 |
| 12/19
～20 | 宗務院研修旅行・内局会議(兵庫県) |

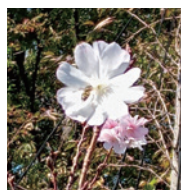
舘沼・晴明庵 11月23日 御報恩会式
薬港・日蓮教会 8月7日 理事会
猿江・猿江別院 8月11日、10月20日、12月15日 写経会



境内情景



伐採



御会式桜



7

高座の前に、春風亭一之輔師匠と当住上人は、当山向かいの永隆寺様へ三遊亭円生の墓参りに訪れる④。その後、落語会が開かれ、前座の貫いち「看板の一（ピン）」、「一之輔師匠による」鰐鰯（ひなつば）、「くしゃみ講釈」を披露。引き続き、浅見慈一師による竹

- 11月5日 宗祖第741遠御忌御会式⑧
- 11月3日 オープニングセレモニー 長崎平戸②
- 11月3日 念企画「引き継がれる画業」
- 10月29日 「伊東深木没後50年・勝田深木同10年記
- 10月14日 啓運寺柳沼晃道上人本葬
- 10月2日 当住上人懸釜①
- 9月29日 桐蔭席 於 京都東山太閤壇
- 9月23日 鍋島客殿保存会(上記参照)
- 9月19日 秋季彼岸会 中日合同法要
- 9月10日 東茶会 宮武慶之先生懸釜
- 9月1日 棚経報告会
- 8月28日 関東大震災第100回忌 於 猿江別院
- 8月11日 「オペラ日蓮」鑑賞 新国立劇場
- 8月28日 啓運寺柳沼晃道上人遷化 9月4日 通夜、5日茶毘式

寺日記

てらにつき

俳句事始

晩秋の平戸の海の波高し
塩釜の造り酒屋の師走酒
討ち入りの講談の声響きけり
極月の廣尾の寺の成道会

鵜鵠

- 11月6日 灯籠能「小鍛冶」を演じた。⑤⑥
- 11月12日 鰻割烹「あつみ」主人 葉山常司(理寛院法修日常信士88歳)氏逝去
- 11月29日 当山にて13日通夜、14日葬儀
- 11月29日 河口湖・常在寺800年慶讃法要
- 12月8日 東京ブディストクラブ東日本大震災第13回忌慰霊法要 於 塩竈・雲上寺⑨
- 12月10日 沼津大本山光長寺塔頭・西之坊落慶式
- 12月10日 歴代人報恩法要・永代経法要・正

令和五年 年回表

百回忌	大正十三年
五十回忌	昭和四十九年
四十回忌	昭和五十六年
三十回忌	昭和六十二年
二十回忌	平成三年
十回忌	平成九年
七回忌	平成十三年
三回忌	平成二十三年
一周忌	令和三年
一周忌	令和四年

隆会年末唱題行
中央義士会 於 高輪泉岳寺
大阪藤井寺松井孝翔師結婚式

12月14日

12月18日

関東大震災殉難歿死諸霊位 第百回忌追悼法要

令和四年九月一日 於妙壽寺 猿江別院

本年9月1日(防災の日)は、関東大震災から99年、第百回忌を迎えました。

当山四百年余の歴史の中で、この震災により、猿江から現在地に移転するという英断、大きな転換の契機となりました。この大災害により、近現代における都市東京は、この後には東京大空襲の戦災を経て、現在の繁栄に至りますが、その所々には、多くの方々の生命財産が失われました。

当山は平成29年再建の猿江別院にて、関東大震災第百回忌を奉修し、有志のご参列をいただき、追悼文にて殉難横死諸霊位に追善の誠を捧げました。



謹み敬って南無開迹顕本 法華経常住一
体三宝諸尊諸天善神 殊には當山別当上行
体内猿江稲荷大明神 末法下種之大導師宗
祖日蓮大聖人 師孝第一日朗聖人 本山開
基日像聖人 日春日法両聖人 日弁聖人
法華宗再興弘通唱導師日隆聖人 法蓮中興
日朝日忠聖人 妙壽寺開基日受上人開山日
崇上人 己來歴代如法弘通の先師聖人等
來臨影嚮知見照覧の妙壽寺猿江別院の御宝
前に於いて法筵を設け追悼の誠を捧げ奉る
今を去る九十九年前の本日(九月一日)
午前十一時五十八分 マグニチュード七・
九 更に同等の余震二度 十分間に亘る激
震と その後に発生した火災は 二日間
に亘り燃え続け 東京市六十四万棟 約
六十四パーセントに当たる四十万棟が全焼
首都東京に甚大な被害をもたらしました
取り分け 現在の両国近くの被服廠跡は
避難した人の家具が類焼し 四万人の人々
が命を落とされ 現在 東京都慰霊堂と
なっております

当時 妙壽寺は當山先々代顕隆日照上人
が住職であり 伝え聞く処によれば 上人
は お堀端の生命保険会社を訪れ昼食を約
してビルを出た途端の激震 ご一緒の予定
の檀家で畏友の平川豊次郎氏(謙徳院正養
日豊居士)は ビルの倒壊により死去され
たのであります

一方 猿江の當山は 折からの強風によ
る火災により全焼 留守を守ってお弟子職員

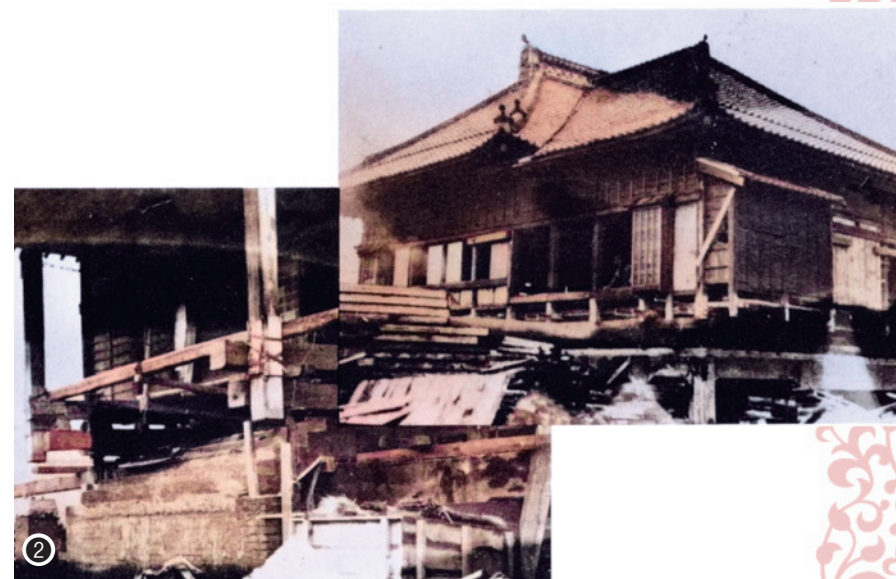
により宗祖御真筆御本尊 そして 御尊像
を炎の中から出すのが精一杯にて 特に檀
家過去帳・宝物・美術品等焼失したるは
痛恨の極みでありました 現在 當山山門
を入り左側にある釜六作の梵鐘は隣の東京
ガスの焼発コールドール流失により穴のあ
いたものであり 二度と再び音を出すこと
は無くなりました

震災後當山では 住職御弟子職員手分け
して 檀信徒のお見舞いと慰霊供養 それ
以前の御先祖仏様 則ち戒名の調査を行い
震災以前の過去帳 新寂簿を作成したの
でした 震災後四年 日照上人は自らお小
僧として入寺した明治三十五年以降の度重
なる大海嘯 所謂大水害と此の度の大震
災・大火災を顧慮し また 都市の郊外へ
の人口移動発展を予見して 市外烏山村へ
の移転を決断し 旧地の四倍の寺域を求め
更に 後の東京帝大総長建築家 内田祥
三博士の御仲介助言をいただき麻布狸穴の
子爵蓮池鍋島邸を譲り受け移築 仮本堂と
して昭和四年落成
法要 後に 本所
吾妻橋清雄寺本堂
新築に伴い旧本堂の
譲渡を受け移築
昭和五十九年の昭
和新本堂落成まで
永く仮本堂と致し
ました

この間の日照上
人 これを補佐し
たサンフランシス
コ日蓮教会創立日
照上人実弟石田日
天上人 当時の御
弟子職員 有志檀
信徒の御苦勞は
筆舌に尽くし難い
ものが有りました
今茲に 数枚の
写真があります
移転当初に客殿大
玄関に写る集合写
真 日照上人を中
心に御弟子職員
有志 檀信徒 そ
して建築・植木等
職方一同が晴やか
に写っているもの
で 正に復興途上
にあつて前向きに



ある人々の姿であります
本日茲に 関東大震災百回忌を迎え 夥
しい方々の殉難横死精霊位及び関連死精霊
位に追善回向し復興に立ちあがりし多くの
人々に敬意と感謝を捧げます
そして 百年後の私共が見舞われており
ます 新型コロナウイルスの災禍と不等なウ
クライナ侵攻犠牲者また 阪神・東日本大
震災等 自然災害による殉難横死諸霊位を
追悼供養し 本宗の掲げる一天四海皆帰妙
法御題目総下種運動に励まんことを誓い
世界平和を祈念申し上げるものであります
本門八品上行所傳本因下種の南無妙法蓮
華經
令和四年九月一日
法華宗妙壽寺第二十七世
猿江別院別当 地涌院廣明



- 1 関東大震災第百回忌追悼法要(令和4年9月1日 猿江別院)
- 2 地上げ工事をする猿江時代の本堂
- 3 猿江旧地から墓石搬出の現場
- 4 市外烏山村へ移転。昭和3年頃、原っぱであった様子がよくわかる。奥の建物、鍋島客殿の前で、順次墓石を移設中の様子。現在の縁の塔(えにしのとう)方向よりの撮影。この後、旧仮本堂等が移築される。
- 5 昭和4年、妙壽寺本堂客殿庫裡落慶法要。

* 令和4年の法要以外の写真②～⑤はAIの技術により、モノクロからカラー(イメージ)に再現しております。